



平成31年3月4日

＜広島大学呉サテライト 公開講座＞
「平成30年7月豪雨災害の現場から～相乗型豪雨災害
の研究最前線～」を開催します

広島大学呉サテライトにおいて、広島大学防災・減災研究センター主催の公開講座「平成30年7月豪雨災害の現場から～相乗型豪雨災害の研究最前線～」を開催いたします。

【日時】 3月13日（水）13:00 ～ 16:00

【会場】 呉市役所本庁舎7階 753・754会議室

【参加費】 無料 【定員】 70名 ※ 当日入場可能

【内容】

広島大学呉サテライト公開講座

「平成30年7月豪雨災害の現場から

～相乗型豪雨災害の研究最前線～」

【1時限】 13:05～13:55

「相乗型豪雨災害」の被害状況とメカニズムとは

講師：土田 孝（広島大学防災・減災研究センター長）

【2時限】 14:05～14:55

砂防の視点から「相乗型豪雨災害」に対する今後の取り組みを考える

講師：長谷川 祐治（広島大学大学院総合科学研究科 准教授）

【3時限】 15:05～15:55

「相乗型豪雨災害」が交通にもたらしたものと今後への備え

講師：神田 佑亮（呉工業高等専門学校 教授）

【お問い合わせ先】

呉市 企画部企画課 久保、林
TEL: 0823-25-3273

広島大学 社会産学連携室 社会産学連携グループ 三戸
TEL: 082-424-5871

発信枚数：A4版4枚（本票含む）



広島大学防災・減災研究センター
Resilience Research Center
Hiroshima University

広島大学呉サテライト設置記念
広島大学防災・減災研究センター主催公開講座

平成30年7月豪雨災害の現場から ～相乗型豪雨災害の研究最前線～



★日時:平成31年3月13日(水) 13:00～16:00

★場所:呉市役所本庁舎7階753・754会議室

★定員:70人(先着)

★参加費:無料

平成30年7月豪雨災害は、広範囲にわたる土砂災害や河川の氾濫が、同時多数的に発生し、西日本を中心に多くの犠牲者を出すとともに、交通や水道が寸断され各地で孤立や断水が起こるなど、地域社会に甚大な被害をもたらしました。

防災・減災研究センターでは、この新しい災害の現象を『相乗型豪雨災害』と名付けて、そのメカニズムの解明を進めています。

本講座は、研究者の目から見た被災地の状況と、最新の研究の状況をお伝えするものです。

1時限 13:05～13:55

『相乗型豪雨災害』の被害状況とメカニズムとは

土田 孝
防災・減災研究センター長



2時限 14:05～14:55

砂防の視点から『相乗型豪雨災害』に対する今後の取り組みを考える

長谷川 祐治
総合科学研究科 准教授



3時限 15:05～15:55

『相乗型豪雨災害』が交通にもたらしたものと今後への備え

神田 佑亮
呉工業高等専門学校 教授



お問い合わせ先

広島大学呉サテライト TEL 0823-25-5691 (平日8:30～17:15)



広島大学防災・減災研究センター
Resilience Research Center
Hiroshima University

広島大学呉サテライト設置記念
広島大学防災・減災研究センター主催公開講座

平成30年7月豪雨災害の現場から ～相乗型豪雨災害の研究最前線～

講義概要

1時限 13:05～13:55

『相乗型豪雨災害』の被害状況とメカニズムとは

土田 孝 (広島大学防災・減災研究センター長)

従来の防災・減災対策の弱点や限界が顕在化した『相乗型豪雨災害』。そのメカニズムを解明することが、今後の有効な対策に資すると考えています。研究者の目で、災害を引き起こした歴史的背景やメカニズム、避難行動のあり方などに迫ります。

2時限 14:05～14:55

砂防の視点から『相乗型豪雨災害』に対する今後の取り組みを考える

長谷川 祐治 (広島大学総合科学研究科 准教授)

広島県で発生した過去の土砂災害と今回の災害の降雨、被災状況、土砂移動現象を比較してその特徴や被害拡大要因を検証するとともに、今後検討が必要な土砂移動現象や取り組みについて紹介します。

3時限 15:05～15:55

『相乗型豪雨災害』が交通にもたらしたものと今後への備え

神田 佑亮 (呉工業高等専門学校 教授)

平成30年7月豪雨により広島呉道路、JR呉線が途絶され、広島～呉間の往来に深刻な影響が発生しました。なぜあのような混雑が発生したのか、そのメカニズムについて解説するとともに、今後の災害に備え、今何ができるのかを解説します。

呉サテライト設置記念公開講座

「平成 30 年 7 月豪雨災害の現場から ～相乗型豪雨災害の研究最前線～」

講師紹介

土田 孝（つちだ たかし）

東京大学工学博士。

東京大学工学部を卒業後、運輸省に入省。港湾空港技術研究所地盤・構造部 土質研究室長などを経て、平成 15 年 4 月から広島大学教授。

平成 30 年 9 月に、広島大学防災・減災研究センターの初代センター長に就任。

専門は、地盤工学・地盤環境工学。

地盤工学会論文賞、技術開発賞、科学技術庁長官賞(研究功労者) など受賞多数。

平成 30 年 7 月豪雨からの復興にあたって、広島県平成 30 年 7 月豪雨災害を踏まえた今後の水害・土砂災害対策のあり方検討会、呉市復興計画検討委員会の委員などを務める。

長谷川祐治（はせがわ ゆうじ）

立命館大学理工学部卒、筑波大学博士（環境学）。

京都大学特任助教を経て、平成 30 年 4 月から 広島大学准教授。平成 30 年 9 月から、広島大学防災・減災研究センターを兼務。

専門は、砂防工学、地域特性を考慮した土砂災害の発生機構や土石流の流動特性。

砂防技術賞、平成 23 年度砂防学会研究発表会若手優秀発表賞などを受賞。

広島県平成 30 年 7 月豪雨災害を踏まえた今後の水害・土砂災害対策のあり方検討会の委員などを務める。

神田 佑亮（かんだ ゆうすけ）

広島大学工学部卒、広島大学博士（工学）。

オリエンタルコンサルタンツ、京都大学大学院工学研究科准教授を経て、平成 29 年より呉工業高等専門学校教授。

専門は、交通マネジメント工学、公共政策。

日本都市計画学会 2010 年年間優秀論文賞、JCOMM プロジェクト等を受賞。

平成 30 年 7 月豪雨時には、「災害時 BRT」や公共交通情報提供システムの構築・運用、関係機関とのリエゾンを担うなど交通マネジメント全般を支え、呉市長、国土交通省中国運輸局長より感謝状を授与。

呉市復興計画検討委員会の委員などを務める。